

# 1 「南海トラフ地震防災規程」の作成

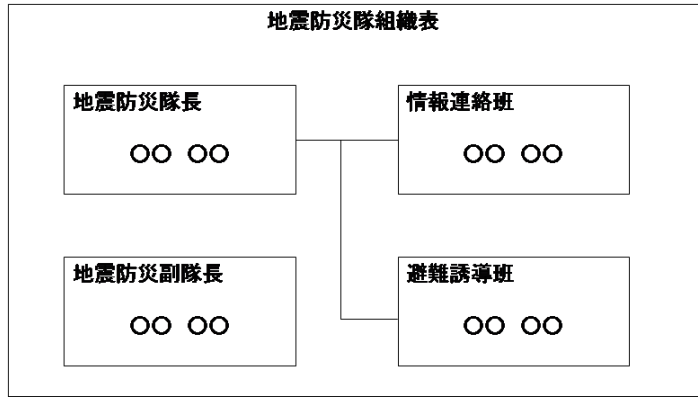
「南海トラフ地震防災規程の作成例」の方法をご紹介します。

## 1 本文作成

南海トラフ地震防災規程  
(作成例)

「南海トラフ地震防災規程の作成例」へ加筆

## 2 図表作成



図表を作成

## 3 提出



以下に提出  
・安芸市消防本部予防係

# 1 本文作成

「南海トラフ地震防災規程の作成例」に加筆することで、本文が完成します。

## 南海トラフ地震防災規程

(※赤字は、作成者により編集を要する箇所です。)

### 第1章 総則

(目的)

第〇条 この規程は、~~南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法~~（以下「法」という。）に基づき、津波からの円滑な避難の確保に関する事項その他地震防災対策上必要な事項について、人命の安全及び被害の軽減を図ることを目的とする。

「第〇条」となっているところに順番に数字をふっていく必要があります。

※第〇条としているのは、事業者様によって独自の条項が追加されることを想定しているためです。

### 第2章 南海トラフ地震が発生した場合における防災に関する業務 (隊長等の業務)

第〇条 隊長は、南海トラフ地震に伴う津波警報等が発表された等南海トラフ地震が発生したことを覚知した場合は、次の措置を講ずるものとする。

- 1 情報収集連絡班に地震及び津波に関する情報の収集にあたらせること。
- 2 南海トラフ地震が発生したことを各班長に伝達するとともに、当該施設内にその旨及び必要な措置について周知すること。
- 3 避難を決定した場合、避難誘導班に顧客等の避難誘導にあたらせること。
- 4 避難を決定した場合、従業員等を〇〇（例えば「〇号館前」など具体的に）に集合させ避難させること。

ご自身の状況に即した内容を入れていただくところもごさいます。

「第3章 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合における防災に関する業務」にある

「（※当該施設が住民事前避難対象地域内で、避難場所となっている場合）」

①

②

3 （※当該施設が住民事前避難対象地域内で、避難場所となっている場合）  
大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下、大津波警報等という）が解除され、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されている場合、避難誘導班に大津波警報等により施設内に退避した顧客等（以下、退避後の顧客等という）に対する避難誘導にあたらせること。

①、②いずれかに該当しない場合は、記載の必要はありません。当該条項を削除してください。

#### ① 「住民事前避難対象地域」

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時に「避難勧告等」が発令される地域です。  
（より詳細については、お問合せください。）

#### ② 「避難場所となっている」

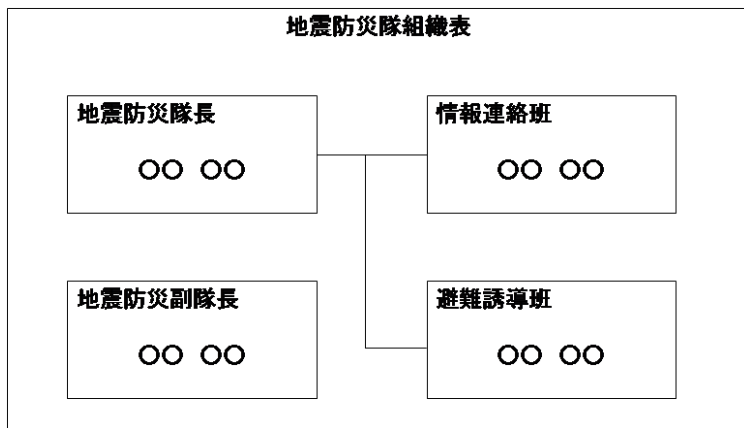
地震に伴う津波が発生した場合に、不特定多数の方が施設に避難する可能性がある場合  
（津波避難ビルになっている場合等）

## 4 「南海トラフ地震防災規程」の作成 ～2 図表の作成～

添付していただく図表については、以下のとおりです。

### ① 地震防災隊組織表

地震防災隊の組織構成を表にまとめます。



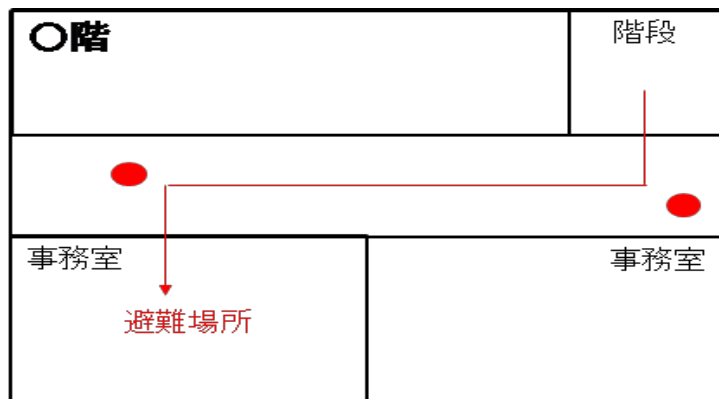
### ② 地震防災隊活動要領

各班の業務を表にまとめます。

担当区分	地震発生時の任務内容	臨時情報発表時の任務内容
地震防災隊長	1略	1略
	2略	2略
	3略	3略
地震防災副隊長	1略	1略
	2略	2略
	3略	3略
情報収集連絡班	1略	1略
	2略	2略
	3略	3略
避難誘導班	1略	1略
	2略	2略
	3略	3略

### ③ 避難誘導員配置図

建物内の避難先、避難誘導ルート、避難誘導員の配置を記載します。

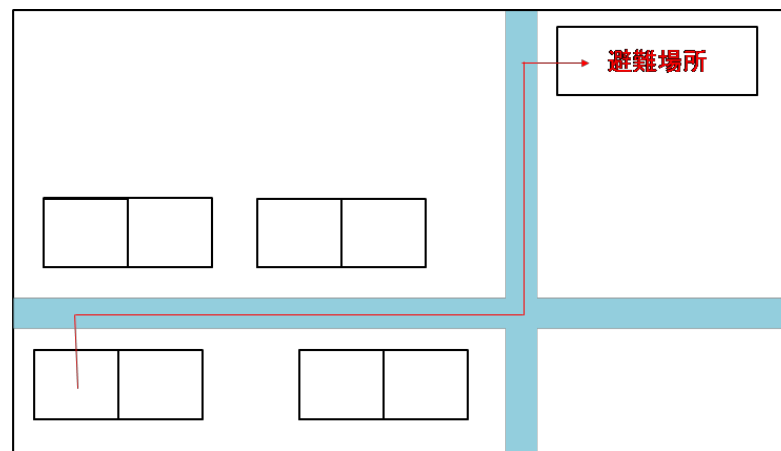


→ : 避難ルート

● : 避難誘導員

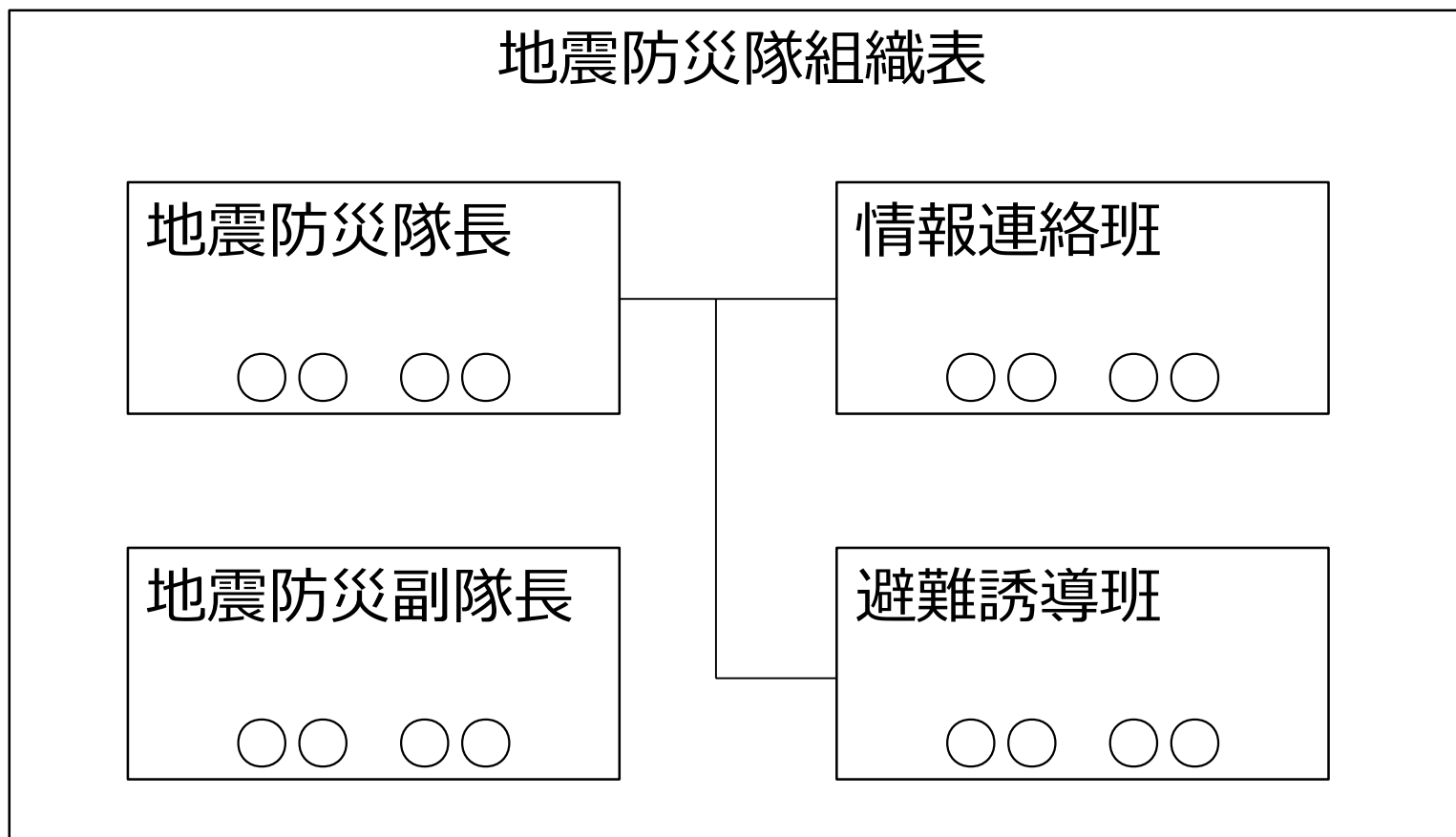
### ④ 地域の避難場所の地図

地域の避難場所への避難ルートを記載します。



### ①地震防災隊組織表の例

以下のように、地震防災隊の組織表を作成します。その他班がある場合は適宜追加してください。



○○ ○○には責任者となる方のお名前を入力してください。

## ②地震防災隊活動要領の例

以下のように、地震防災隊活動要領を作成します。その他班がある場合は適宜追加してください。防災規程本文の内容やその他必要な内容について記載してください。

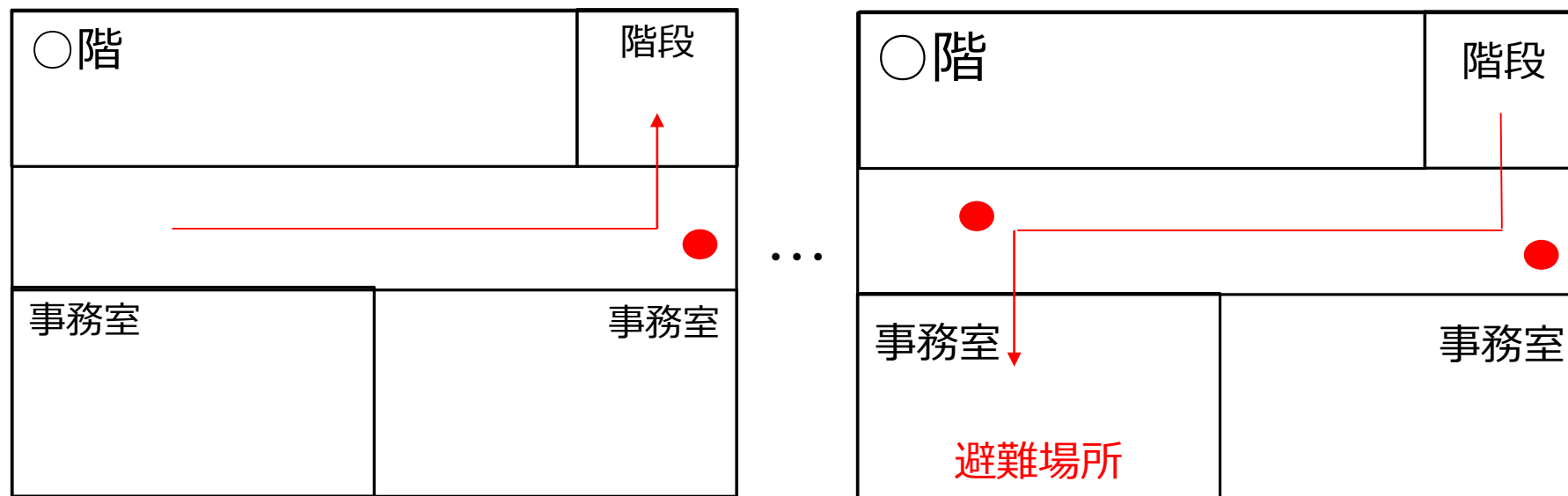
担当区分	地震発生時の任務内容（例）	臨時情報発表時の任務内容（例）
地震防災隊長	<ol style="list-style-type: none"> <li>地震及び津波に関する情報の収集の指示</li> <li>南海トラフ地震が発生したこと及び必要な措置について周知</li> <li>顧客等の避難誘導の指示</li> <li>従業員を集合させ避難を指示</li> <li>前号に掲げるほか、津波からの避難に支障がない範囲で、地震による被害の発生防止又は軽減を図るために必要な措置を指示</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>情報収集連絡班に臨時情報（調査中）、臨時情報（巨大地震警戒）及び臨時情報（巨大地震注意）に関する情報の収集の指示</li> <li>臨時情報（調査中）、臨時情報（巨大地震警戒）及び臨時情報（巨大地震注意）が発表されたことを及び必要な措置について周知</li> <li>退避後の顧客等に対する避難誘導の指示</li> <li>前号に掲げるほか、後発の地震による被害の発生防止又は軽減を図るために必要な措置を指示</li> </ol>
情報収集連絡班	<ol style="list-style-type: none"> <li>地震及び津波に関する情報の収集</li> <li>同上で得た情報を随時隊長へ報告</li> <li>同上で得た情報及び隊長の指示等防災上必要な情報を顧客、その他の従業員へ伝達</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>臨時情報（調査中）、臨時情報（巨大地震警戒）及び臨時情報（巨大地震注意）に関する情報の収集</li> <li>同上で得た情報を随時隊長へ報告</li> <li>臨時情報（調査中）、臨時情報（巨大地震警戒）及び臨時情報（巨大地震注意）に関する情報及び隊長の命令の内容等防災上必要な情報を顧客、その他の従業員等へ伝達</li> </ol>
避難誘導班	<ol style="list-style-type: none"> <li>建物内の避難路の確保及び安全の確認</li> <li>当該地域の避難場所までの経路を示した地図の掲出等必要な措置を講じ、完了後はその旨を直ちに隊長へ報告</li> <li>隊長の指示により顧客等を避難誘導を開始</li> <li>顧客等への避難誘導が完了したときは、その旨を確認し、直ちに隊長に報告</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>建物内の避難路の確保及び安全の確認</li> <li>当該地域の避難場所までの経路を示した地図の掲出等必要な措置を講じ、完了後はその旨を直ちに隊長へ報告</li> <li>隊長の指示により顧客等を避難誘導を開始</li> <li>顧客等への避難誘導が完了したときは、その旨を確認し、直ちに隊長に報告</li> </ol>

### ③避難誘導員配置図の例

以下のように、避難誘導員配置図を作成します。

- 1 避難誘導員を配置するにあたり、事前に津波に関する情報（想定浸水深など）を収集し、津波が襲来しても安全が見込める避難先、避難ルートを決めましょう。
- 2 決めた避難先、避難ルートへ、顧客等を滞りなく誘導できるよう人員を配置してください。

作成イメージ（ビルの高層階への避難の場合の例）

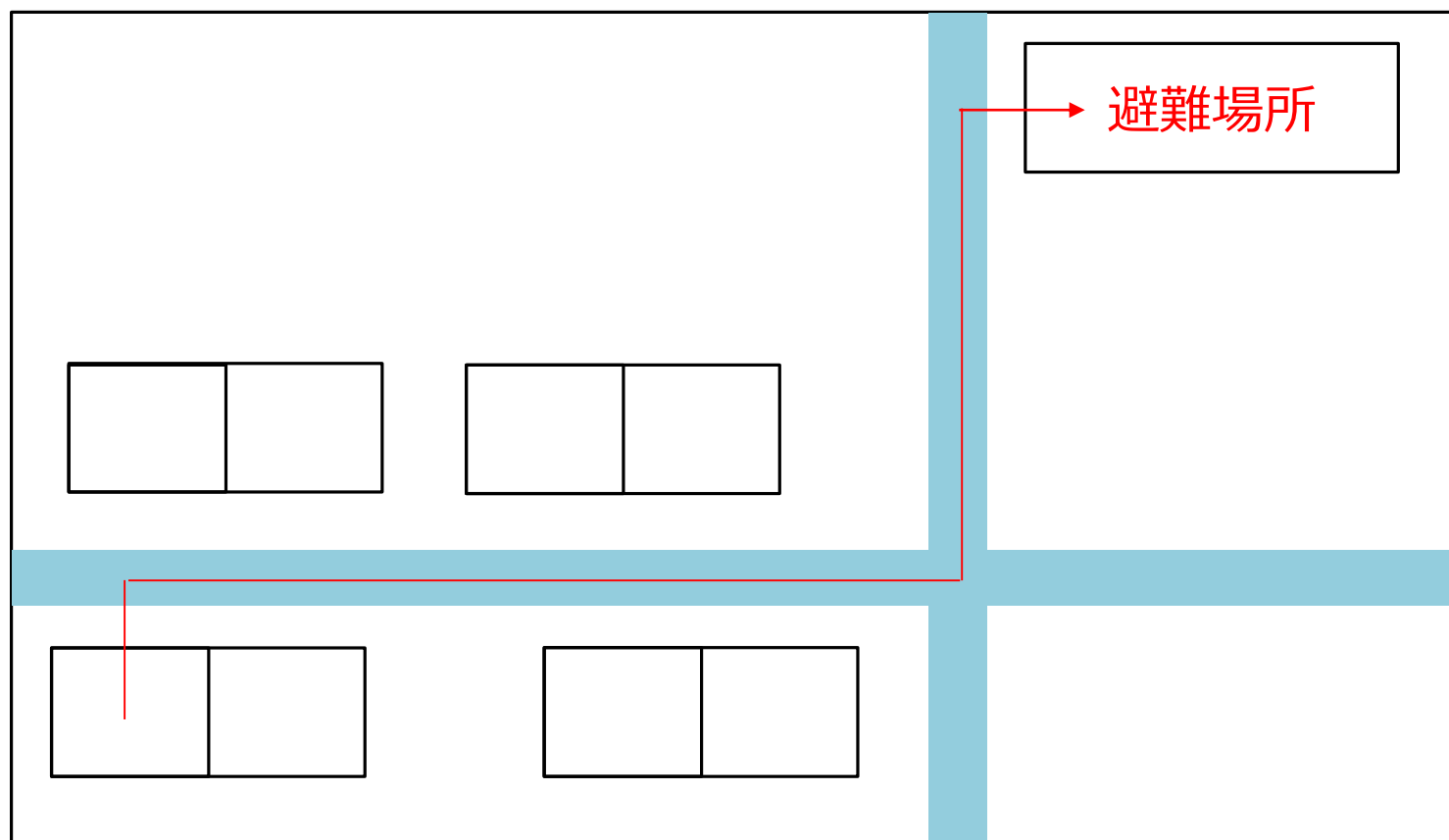


※直接地域の避難場所へ誘導する場合も、建物内のどこに誘導員を配置するか図を作成しましょう。

#### ④地域の避難場所の地図の例

以下のように、地域の避難場所の地図を作成します。

- 1 事前に津波に関する情報（想定浸水深など）を収集し、避難先、避難ルートを決めましょう。
- 2 決めた避難先、避難ルートへ、滞りなく誘導できるよう人員を配置してください。



※地図については、国土地理院地図やGoogleマップなど地図情報提供サービスを印刷したものでも差し支えありません。



## 本文との調整（図表のナンバリング）

本文中には、別図を示す文言があります。対応した番号を入力します。

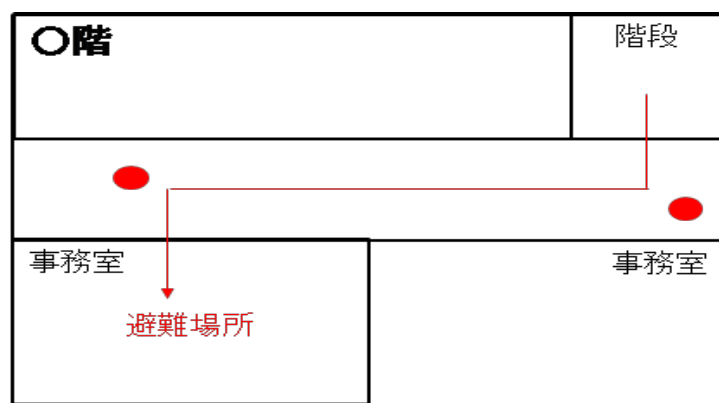
（避難誘導班の業務）

第○条 避難誘導班は、次の活動を行うものとする。

- 1 地震の発生又は隊長の指示に基づき、速やかに別図第○の位置につき、建物内の避難路の確保及び安全の確認、当該地域の避難場所（別図第○）までの経路を示した地図の掲出等必要な措置を講じ、完了後はその旨を直ちに隊長へ報告すること。

避難誘導員配置図

別図第○



→ : 避難ルート

● : 避難誘導員

避難場所の地図

別図第○

